

3.1

1995/No.795

奈良

しみんだより

市民のうごき(2月1日現在)



人口 359,311人
(前月比 59人減)

男172,308人 女187,003人



世帯数 126,430

▶ 「安心の暮らしの中心 火の用心」 3月1日～7日は春季火災予防運動です。



2月5日、奈良大和路キャンペーン期間中のイベントとして行われた平城ウォーク95。約2,500人が参加し、平城宮跡から西大寺まで歴史ゆかりの地を訪ねました。

奈良しみんだよりは再生紙を使用しています。



新しく建設された市ボランティアセンター



筆祭り (菅原神社 3月25日)

3.1

1995/No.795

- ニュース 2
- 世論調査から 4
- トリエンナーレ奈良'95 6
- ママさん特派員レポート 7
- 万葉のうたほか 8
- サークル紹介・東西南北 9
- お知らせ 10

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

生まれ変わった地域福祉の拠点

東老春の家・ボランティアセンター竣工式

施設の老朽化のため増改築が進められていた老人福祉センター「東老春の家」と地域福祉の拠点として建築していた「市ボランティアセンター」の竣工式が二月三日に行われました。

年寄りのやすらぎの場として、そして長年の経験を後世を担う人たちに伝える場として活用してほしい」と話していました。

増改築によって老人施設とボランティア施設が一体となった両施設の敷地面積は約五千二百平方メートル。ボランティアセンターは鉄筋コンクリート二階建て。延床面積六百十八平方メートル。一階には事務室のほか、に談話ホール、調理実習室があ



大川市長、萩田義雄市議会副議長、武野義正市万青年クラブ連合会長、乾泰子市ボランティア連絡協議会会長が完成したばかりのボランティアセンター前でテープカット

兵庫県南部地震の被災地へ生活物資

大川市長ら被災地を見舞う

市では、大きな被害をもたらした兵庫県南部地震の被災地の西宮市と芦屋市に、救援物資を大和郡山市と連携し支援することを決め、一月二十五日、大型トラック四台に物資を満載し奈良市役所を出発。大川靖則奈良市長、県市長会会長の阪奥明大和郡山市長らが消防指令車に分離し同行、西宮・芦屋の対策本部に向いました。この日輸送した救援物資は、被災者の生活を支えるもので、奈良市が用意した救急セットや放置車両として

撤去し、修理等した自転車のほか、市民から持ち寄られた米・缶詰めなどの食料品、肌着・トイレットペーパーなどと大和郡山市が用意した弁当、缶詰めなど。

「こういふ時こそ、助け合いが大切。多くの市民から寄せられた善意の心を、市民を代表して届けてきます」とあいさつ。また、阪奥大和郡山市長も「近畿はひとつをスローガンにこれからも継続して支援していきたい

出発にあたり大川奈良市長は「この時こそ、助け合いが大切。多くの市民から寄せられた善意の心を、市民を代表して届けてきます」とあいさつ。また、阪奥大和郡山市長も「近畿はひとつをスローガンにこれからも継続して支援していきたい

家屋の倒壊など生々しい傷あとの残る被災地の惨状をまのあたりにした大川市長は「気力ががんばる被災者と懸命に活動するボランティア等、心の通い合う姿に心を打たれました」と感想を述べ、市民の防災意識の向上に力を入れたいと話しました。

元気な歌声は若さの秘訣

第二十五回老春大学

高齢者自らの生活向上の参考にしてもらおうと、市が毎年実施している老春大学が一月二十六日市役所で開かれました。

はじめに大川市長が「奈良市政について」と題して講義。「まちづくりは人づくりと考

えています。みなさんの貴重な知恵や知識を奈良の子どもたちに伝えてください。奈良市の発展のためにはみなさんの力が、ぜ

ひ必要です」と話し、講義を締めくくりました。次に音声館館長の荒井敦子さんが「元気で長生き」歌えはいのちの泉湧く」と題して四季折々の歌や思い出の歌を参加者と一体となり熱唱。集まった六百四十人の参加者は最後に全員で唱歌「ふるさと」を合唱し、より一層明るい笑顔で帰路につきました。



笑顔で歌う参加者と荒井音声館館長

兵庫県南部地震の被災者の方々への義援金に引き続きご協力を！

市民のみなさまからご協力いただいている義援金については2月10日現在6,000万円を緊急支援物資とともに送らせていただきました。

厚くお礼申し上げますとともに、引き続きみなさまのご協力をお願いします。

受付窓口…市役所中央棟6階市社会福祉協議会、各出張所、各連絡所 ▶受付期間…4月末日まで ▶問い合わせ…市社会福祉協議会（☎4601111）へ。

「がんばってください」と被災者を励ます大川市長（芦屋市役所で）



市政テレビ

奈良テレビ放送UHF

～ふれあいのまち奈良～

毎週木曜日 午後9:50～9:55 (再) 土曜日 午後8:55～9:00

～いきいきタウン～

毎週土曜日 午後10:00～10:15 (再) 日曜日 午前11:45～正午

※奈良テレビが映りにくい、映らない、そうした声に応じて3月1日～31日の期間中、工事費用などの割引サービスがある「アンテナキャンペーン」を展開しています。くわしくは奈良テレビ放送（☎4601111）へ。

奈良への愛着と生活環境

平成6年度

世論調査から

市では、市民のみなさんが市政についてどのように考え、何を望んでいるかを調べ、今後の施策に反映させるため、1967年から毎年「奈良市政についての世論調査」を実施しています。

今年度は、生活環境・奈良市の特性を活かしたまちづくり・これからの社会情勢・町名の4項目について調査しました。

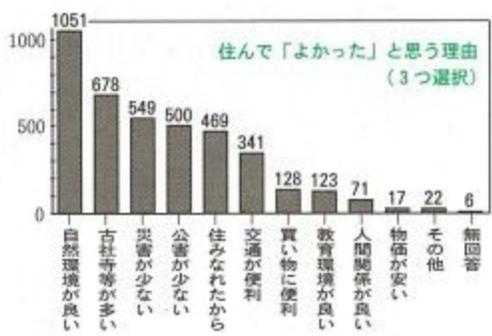
この調査結果を2回に分けて紹介します。

調査は、市の住民基本台帳から無作為に抽出した20歳以上の3,000人を対象に、昨年7月22日～8月15日に行い、1,846人（回収率61.5%）から回答をいただきました。百分比の合計は、小数点第2位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

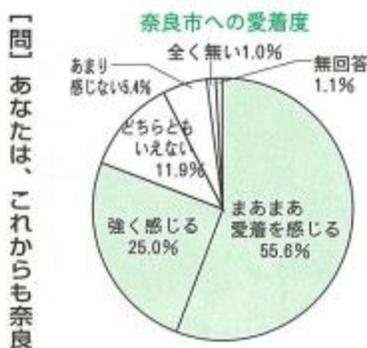
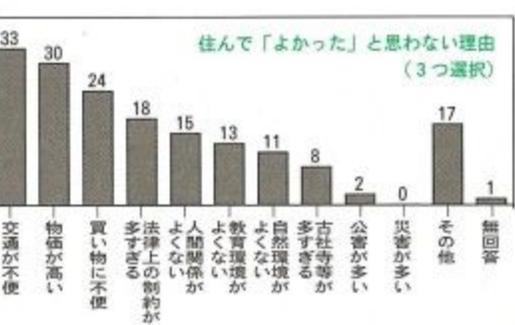


「問」あなたは、奈良市に住んで何年になりますか。
「25年以上」が最も多く、次いで「15年～25年未満」となり、15年以上住んでいる人が全体の64.8%を占めています。
平均居住年数は19.3年で、地域別で見ると東部27.3年、南部21.2年、中部19.1年、西部17.6年、北部15.1年と

なっています。
「問」あなたは、奈良市に住んで「よかった」と思いますか。
よかった 76.2%
どちらともいえない 16.8%
よかつたと思わない 3.7%
わからない 1.7%
無回答 1.5%
昭和44年から同じ質問を続けています。当初「よかった」と思う人が50～60%でしたが、50年を境に70%台に飛躍し、今回は76.2%でした。
「よかつた」と答えた人の男女差はほとんどないものの、年齢が高くなるほど、また居住年数が長くなるほど満足度が高くなる傾向があります。
「問」(「よかつた」と思いますが「よかつたと思わない」と思いませんか。)(3つ選択)

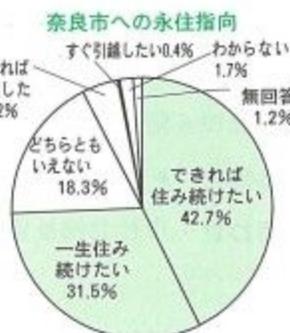


「自然環境が良い」と答えた人が例年通り最も多く、全地域でトップにあげられています。次いで「古社寺・史跡・名勝が多い」「災害が少ない」「公害が少ない」「住みなれたから」がつづき、住みよいベスト5となつています。
居住地域別にみると東部で「公害が少ない」、南部で「住みなれたから」、そして北部で「教育環境が良い」をあげる人が多くなっています。
「問」(「よかつたと思わない」と答えた人に)「どうしてか」から「思う理由」を3つ選択



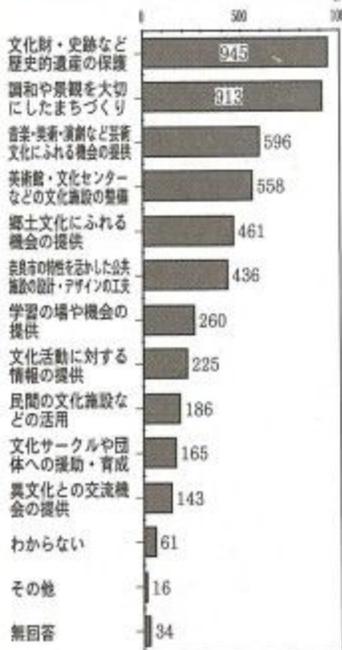
「問」あなたは、奈良市に愛着を感じていますか。
「強く感じる」と「まあまあ感じる」を合わせると、80.6%の人が愛着を感じると答え、昨年の81.6%におよばないものの、8割を超えます。
愛着度は男性より女性の方が高く、居住年数の長い人ほど高くなつており、25年以上の居住者では9割を超えています。

市に住み続けたいと思いますか。
「一生住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせると74.2%で、年配層ほど、また、居住年数が長い人ほど永住志向が高くなる傾向があり、地域別では東部、南部地域で8割を超えています。



「問」あなたの住んでいるまちの環境に対する評価として、あなたの感じ方に最も近いものはどれですか。
まちの環境については、「工場の公害のなさ」「緑の豊かさ」など、自然環境面での満足度が高いようです。
地域別では東部・北部で「緑の豊かさ」が1位となり、旧市内や西部で「交通の便のよさ」、南部・中部で「買い物の便」、東部では「公民館や集会所」が上位5位に入っています。次に不満度は、「川や水路のきれいなさ」「道路の整備状況」「子供の安全な遊び場」「スポーツ・レクリエーション施設」などが高く、地域別では東部・北部で「日常の買い物の便」が1位となり、特に東部では71.1%が不満となっています。

文化行政のあり方（3つの選択）

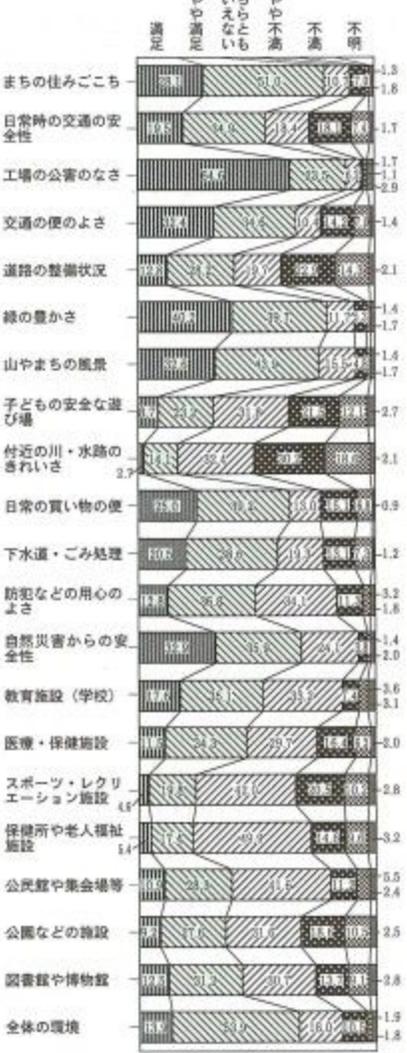


「問」あなたは、市政に関心がある方だと思いますか。市政への関心は「非常にない」

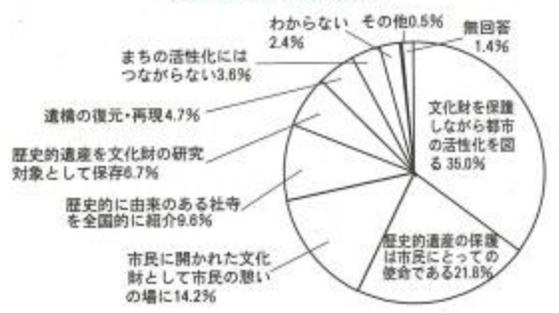
「問」奈良市におけるこれからの文化行政のあり方として、どんな点を入れるべきだと考えていますか。（3つを選択）
ここでは、「文化財・史跡な

奈良市の特性を活かしたまちづくりについて

まちの環境評価

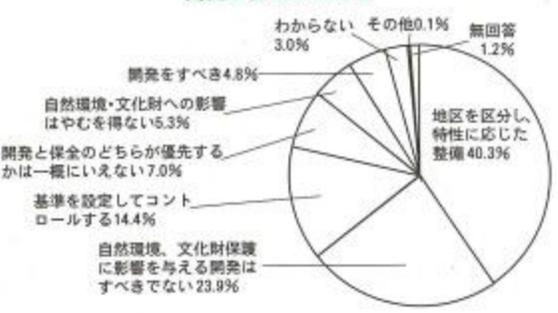


歴史都市としての役割



「問」歴史的遺産が多く存在すど、歴史的遺産の保護」「調和や景観を大切にしたいまちづくり」の2つを支持する人が多く、共に半数近くを占めています。

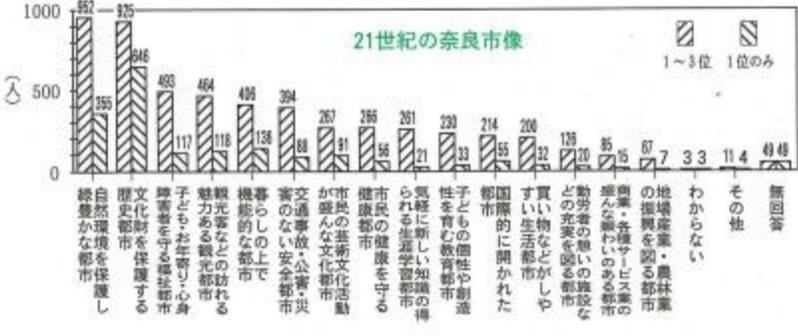
開発と保全のあり方



「問」奈良市の開発と保全のあり方についてどう思いますか。市の開発の仕方については、「地区を区分する」や「コントロールを区する」など条件つき開発が支持されています。それは環境保全を大切にしたいという意見が多いことをあらわしている

「問」奈良市は、日本にとつての歴史都市としての役割を担っていますが、このことについて、どのように考えていますか。歴史都市としての役割として、「文化財を保護しながら都市の活性化を図る」という意見が最も多く35.0%、「歴史的遺産の保護は市民にとつての使命」が21.8%となっており、「歴史的遺産はまちの活性化につながる」とするものはわずか3.6%で、歴史的役割を重視すべきという結果でした。

21世紀の奈良市像



「問」今後21世紀を展望した上で奈良市がどのような市になることが望ましいと思いますか。（順位3位を回答）
支持する意見の1位から3位までを選んでもらったところ、合計で「自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市」と「文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市」がともに半数を超えています。1位だけの支持率を見ると「歴史都市」を望む人が35.0%と最も多い支持を得ています。

4月29日(土)～6月18日(日)

世界建築博覧会1998奈良第2回イベント

トリエンナーレ奈良1995

トリエンナーレとは、イタリア語で「3年に1度の催し」の意味。92年に続いて「歴史と未来の共生」をテーマに開かれるトリエンナーレ奈良1995では、たくさんの催しでまちづくりを考えます。くわしくは4月1日号のしみんだよりで特集しますが、申し込みが必要な催しは次のとおりです。

シンポジウム・講演会

現代建築を代表する内外の建築家や評論家が、建築や都市景観、まちづくりについて探求・討議を行う国際シンポジウム・講演会。(手話通訳あり)

日時 5月21日(日) 10:00～19:00
22日(月) 10:00～16:55
23日(火) 10:00～18:30

◆3日間通しの申込み

会場 史跡文化センター(三条大路1丁目)
講師 「現代建築家展Ⅱ」に出展した建築家21人および建築評論家9人

定員 800人
入場料 5,000円(「現代建築家展Ⅱ」図録付)

奈良市とその周辺歴史の旅

定員 各コース90人(講師と共にバスで巡る)
参加料 各コース5,000円(昼食・拝観料等含む)

「近代建築を巡る」

日時 5月13日(土) 9:00～16:00
集合 近鉄奈良駅(予定)
コース 旧奈良県議会議事堂 奈良国立博物館 奈良少年刑務所 奈良女子大記念館 他
講師 柴田正己(明治建築研究会代表、堺市立工業高校建築家教諭)

「古代建築を巡る」

日時 6月3日(土) 9:00～16:00
集合 薬師寺北門(予定)
コース 薬師寺 唐招提寺 元興寺 十輪院 新薬師寺他
講師 岡田 男(奈良大学文学部文化財学科教授)

「古寺を巡る」

日時 6月11日(日) 9:00～17:00
集合 近鉄奈良駅(予定)
コース 法隆寺 唐招提寺 元興寺 東大寺
講師 光森正士(奈良国立博物館名誉館員)

ならまち文化歴史回廊

元興寺コンサート

入場無料

日時 5月3日(木) 昼の部 14:00～16:00
夜の部 18:00～20:00

会場 国宝 元興寺禅室(中院町)
出演 ならチェンバーアンサンブル
定員 各部180人

新薬師寺コンサート

入場無料

日時 5月5日(金) 18:00～20:00
会場 国宝 新薬師寺本堂前庭(高畑町)
出演 北村英治クインテット+キャロル山崎(ボーカル)
定員 360人

ならまち座『能・狂言』

入場無料

日時 5月28日(日) 15:00～17:30
会場 ならまちセンター(東寺林町)
出演 金春流
定員 300人

ならまちを考える会議

入場無料

ならまちの暮らし、仕事、伝統、文化について、女性の視点から討論します。(手話通訳あり)

日時 6月4日(日) 14:00～16:00
会場 国宝 元興寺禅室(中院町)
講師 森まゆみ(作家)、田中恒子(奈良教育大学教授)
井上千鶴(麻布コーディネーター)、熊田由美子(美術史家)

定員 150人

ミュージカル『二月堂』

ろうべんすげ

良辨杉

入場無料

月日・会場 4月29日(土)・30日(日)・5月4日(木)・14日(日)・28日(日)は音声館(鳴川町)、
6月4日(日)はならまちセンター(東寺林町)
時間 いずれも14:30～16:00
出演 一般公募した人たち
定員 各回90人(6月4日のみ300人)

応募方法

いずれも往復はがきにて応募(1枚に2人まで)。①参加イベント名(コンサート・ミュージカルは希望公演日と昼・夜の別、歴史の旅は希望コース) ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤性別 ⑥電話番号 ⑦参加人数を明記のこと。(返信はがきにも住所、氏名を明記のこと)

締め切り 4月15日(土)必着

申し込み 〒630-91 奈良中央郵便局私書箱27号「トリエンナーレ奈良1995事務局」へ。

問い合わせ 財世界建築博覧会協会事務局(奈良市役所内 ☎34-1111代、fax 36-0310)

※申込多数の場合は抽選を行います。結果は返信はがきで通知。有料分については振込み方法を連絡、入場料金振込みの確認後チケットを発送します。



ママさん 特派員 レポート

六条町

井上 ヨシ子さん



やさしく、ぬくもりのある福祉活動

音楽療法はじまる

私はみんなで歌を歌うことが好きです。その歌によって、心が和み、活力を与えたとしたら、どんなにすばらしいことでしょうか。

皆さんは「音楽療法」を、ご存じでしょうか。

音楽を利用して治療する方法ですが、音楽鑑賞やコーラス、音楽を演奏したり、リズムにのって踊ったりして、高齢者の痴呆の予防や身障者のリハビリに効果があるとしたら、こんなに楽しい治療方法はないと思います。そんなすばらしいことが今年、奈良市で始まります。

昨年三月に、市代表団が姉妹都市であるオーストラリアのキャンベラ市を訪れた際、福祉施設で行われていた音楽療法を見学し、市でも試みようとして、昨年七月八日市社会福祉協議会がオーストラリア音楽療法協会、公

認音楽療法士であるカースティン・ロバートソンさんを招いて「音楽療法講演会」を開催したところ、定員を上回る多数の参加者がありました。その後、問い合わせも多くあり、九月二十



カースティン・ロバートソンさんの講演会には多くの人が集まりました

八日に再度開かれました。ロバートソンさんは「音楽は生きる苦しみや、憎しみを心から追い出す手助けをする能力をもっている。魂に養分を与え、心を和らげ、体のリズムを整え、活力を与えることによって、ばらばらに砕けた精神を慰め癒し、よりよき人生を生み出す一歩をつくりだしてくれれます。音楽療法というものは病める人、障害を持つ人に希望や喜び、心の平和を与えられるもつとも基礎的な療法です。」と音楽療法の可能性や意義を話されました。私は、人を救うのは人であると深く感銘しました。市では、この事業を進めていくために、音楽療法検討委員会を社会福祉協議会に設置しました。

音楽療法検討委員である音声館館長の荒井敦子先生が、音楽療法に取り組んでいらつしやるということをお聞きし、心身障害者福祉センター「みどりの家」と社会福祉法人ならやま会「いずみ園・わかさ園」を、訪ねてみました。荒井先生が輪の中に入り透き通った弾んだ声で歌い始められると、みんなの顔が一斉に輝きました。体を動かしながら歌って、情景を浮かべながら歌っていますと、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいます。私も輪の中に入って、みんなに負けなような声で歌い、目と目が合った子どもとほ

ほえみ返ししながら、手を鳴らし、体を揺らせて一緒に楽しみました。センターの方が、「これを取り入れてから、休む子がなくなり、根気が続くようになり、みんな何よりも楽しみにしています」と話されました。

数日後、ならやま会で行われた「お餅つき大会」にも参加しました。冷たい空気の中で真っ白な湯気を立て蒸されたもち米が、石臼の中に入れられ、市長さんと一緒に杵を振り上げ、ヨイショ、ヨイショとかけ声を合わせ手を打ち、お餅をつき上げました。あんこもちにしていただきましたが、おいしいことはもちろん、何よりも心温まる思いでした。



荒井敦子さんの指導で歌にあわせ体を動かす、いずみ園・わかさ園の利用生たち

また市では、「高齢者とともに歩むまち奈良」宣言が、昨年九月十五日に制定されていますが、その事業の一環として高齢者を対象に「奈良市老春大学」が開かれています。第二十五回目は「元気で、長生き・歌えば命の泉湧く」という題で荒井先生の講義があり、私も受講しました。先生は、わらべうた、童謡、唱歌、懐かしい歌をみんなと一緒に歌ってください、一日

本歌には日本人の心があります。歌を通じて心と心のふれあいができるということは素晴らしいことです。」と話され、奈良市が一市町村事業としては初めての音楽療法士の養成に取り組みでいくということを、教えてくださいました。

平成十年完成予定の「(仮称)シルバー健康センター」で音楽療法の施設ができるとお聞きしましたが、高齢者の痴呆防止や障害者のリハビリに効果があるとされる音楽療法の取り組みが、奈良市の福祉活動の大きな飛躍となることと期待します。

飛躍となることと期待します。

万葉のうた

奈良の歴史をよむ

志貴皇子のよろこびの御歌一首
石ばしる 垂水の上のさわらびの
萌え出ずる春になりけるかも

(巻八一四一八)

あんまり有名すぎて、実は、ひよっとしてこの連載ですでに取り上げたのではないかと、自分の記憶が心もとなくなつて、もう一度第一回からの歌を反復調べてみて、やはりまだ未掲出であることを確めて、遅ればせながら登場させた、という次第。

万葉集の春の歌として、それほどにこの歌は知れ渡っている。春夏秋冬一年三百六十五日、春の季節の幕開けを詠い上げたものとして、これほど単純明快その情景といい、その感覚といい、この歌ほど現代人の感覚にもそのまま通用する歌は、万葉集四千五百首の中でも、そうざらにあるものではない。歌の意味は現代風に一語たりとも訳す必要はない。ワタシ古文苦手ナノ、というギャルにだって、何の説明もなく歌のいわんとする意味は、まあそこそこには汲み取ってもらえるであろう。市街地のアスファルトジャングルで日常寝起きしている人にも、いつかどこかで見た田舎の村はずれや山あいであと目にとま

た谷のせせらぎや、ワラビ・ゼンマイ・コゴミのこぶしを握って振り上げたようなかわいい春の芽ぶきのありさまが、じんわりとよみがえってくる。そんな、日本人の心の故郷の「原風景」の春の情景をこの三十一文字は心地よいリズムで詠い上げているのだ。春を迎えて心が躍り、心臓がドキドキと鼓動してくる。その鼓動に調子を合わせるように、この三十一文字はリズムとテンポを躍動させる。歌に素人の私だつて名歌だと思ふ。平凡にして非凡といつてもよい歌だ。

されば、余程の歌の達人、かの柿本人麻呂か山辺赤人かなどとすぐ調子に乗って短絡してはいけない。それほどの名手は、このような平凡な手法は余りにも素人くさくて用いないものだ。作者は高円山の麓のあたりに、平城宮での官廷社交の表舞台からひっそりと身を隠すように風雅の生活にひたっていた志貴皇子である。志貴親王（施基とも芝基とも書く）は天智天皇

と越道君の娘との間に生まれた第七皇子であった。幼くして壬申の大乱という災難に逢つたのだから、奈良時代の天武系の天下に、生き残れたのがむしろ不思議といえる。だが事実は小説よりも奇。このようにして生き延びた志貴親王は、天寿を全うし、あげく、その遺児・白壁王は奈良朝末期、天武系の血の絶える称徳女帝の後を六十二歳の老齢で承継いで、光仁天皇となられるのである。よって、志貴皇子は死後田原（春日宮）天皇と天皇名を追号されるのである。



文・青山茂（帝塚山短期大学教授）
絵・星野京

人権が尊重される ふれあいのある社会へ

人権は世界の共通語

市民意識調査分析結果から

人権問題についての学習意欲を知るために、市民のみなさんがどのように思っておられるのかを尋ねました。

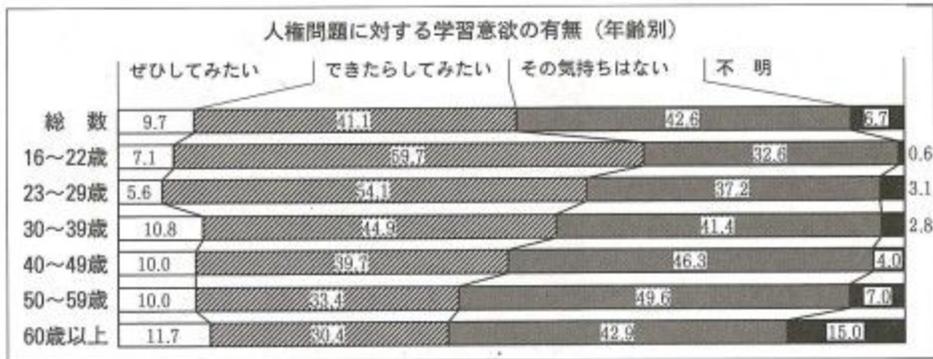
この調査から、人権問題の理解を深めるために、今後読書や学習をしてみたいと思っておられる人が半数以上を占めていることがわかりました。また、「ぜひひてみたい」は、年齢が高いほど高い数値を示しています。

このことから年齢が高いほど意欲が高まっていることもわかりました。

人権は、今や世界共通の価値観として定着しつつあります。私たちの人権意識の向上が、世界の人々と共に生きる最低の条件であることを今一度確認していただければ幸いと存じます。このシリーズもこれで最終回を迎えました。調査結果のすべてをお伝えできないのが残念ですが、啓発誌等でお伝えしたいと考えています。

今後もこの意識調査をもとに、人権が尊重されるふれあいのある社会をめざして、より一層の取り組みを進めて行きたいと考えていますので、みなさまのご協力をお願いします。

人権問題に対する学習意欲の有無（年齢別）



毎月11日は
「人権を確かめあう日」です

サークル

将棋アマチュア日 寧楽将棋会

かつて、将棋アマチュア日本一が二人も参加していた名門の将棋クラブです。会員は上級者からアマ四段くらいまでの棋力の約二十人が集まっています。

活動内容は毎月定例のリーグ戦と年一度の親睦旅行が主なものです。リーグ戦は各自五局ずつ対局し、勝率により順位を決め、参加者の半数に賞品を用意しています。

対局中は、真剣な表情で戦っていますが一旦勝負がつけばにこやかに感想を述べあっています。

この会は昭和二十二年に当時の木村義雄名人に挑戦した奈良出身の棋士松田辰雄八段の後援会として発足し、今まで続いています。

現在会員は男性ばかりですが、女性や小中学生また初心者の参加も歓迎します。

西部公民館で毎月第三日曜日午後一時から対局を開始しています。

連絡先 近藤 (☎03885)



▶将棋クラブ 寧楽将棋会

リビング健康体操

若草会

平成三年六月から活動している女性ばかりのサークルです。現在、会員は十二人。

活動内容は、専任のトレーナーの指導により、音楽に合わせてダンスと柔軟体操を行っています。ダンスは、エアロビクスやジャズダンス、フォークダンスなどの要素を取り入れた独自のものです。最近

流行の音楽に合わせて振り付けられています。一曲踊るとちょうどいい汗をかき、体調や年齢に応じてできるよう工夫されています。

柔軟体操は普段使わない筋肉を伸ばすことにより体の若さを保てるようにしています。

体操をすることにより美容と健康を保持し、身も心も軽くなりたいたいと思っている人は連絡してください。

火曜日のコースと水曜日のコースがありいずれも午前十時～十一時半に若草公民館佐保分館に集まっています。

連絡先 森島 (☎01376) 谷崎 (☎03613)



▶リビング健康体操 若草会

北東 西南

●ジュニア・アクト・スクール生徒を募集

(社)奈良青年会議所が募集します。

定員：市在住の小学新4～6年生、各学年20人(多い場合は抽選) ▼参加料：入校費2千円、カリキュラム費1万3千円、その他催しごとに必要 ▼申し込み・問い合わせ：はがきに住所、氏名、新学年を書いて3月31日までに同会議所ジュニア・アクト・スクール事務局(〒630登大路町三六一二 ☎0112)へ。

●中国語・中国文化講座

奈良日中友好学院が4月～9月に開きます。受講料は無料ですがテキスト代が必要で

中国語講座 内容：初級～上級、歌と会話教室、中国語旅行会話 ▼テキスト代：2万4千円(入門は1万2千円)

中国文化講座 内容：漢文(テキスト代は1万6千円)、水墨画(テキスト代は2万千円)

※この他にも西大寺新講座(1年卒業制で週3回コース)があります。

●合唱団パンダ定期演奏会

第12回定期演奏会 とき：3月26日(日)午後1時開演 ▼ところ：県文化会館(登大路町) ▼入場料：無料(整理券を発行) ▼問い合わせ：国立西奈良病院パンダ病棟の中沢さん(☎01388)午前10時～午後8時)へ。

●ふるさと再発見

市青少年団体連絡協議会が開催します。

とき：3月11日(土)午前10時～午後2時 ▼ところ：富雄第三小学校(帝塚山南二丁目) ▼対象：小学生 ▼内容：クラブト、うた、人形劇等 ▼参加料：無料 ▼申し込み：不要。当日直接会場へ ▼問い合わせ：市役所女性青少年課へ。

●市保育会ふれあいカーニバル'95

とき：3月11日(土)午前10時～午後2時半 ▼ところ：中央体育館(法蓮町) ▼内容：保育園児のわらべ歌、模擬店、バザーなど ▼問い合わせ：佐保山保育園(☎05512)へ。

行政

市議会議員選挙

立候補予定者への説明会

市選挙管理委員会では、4月23日(日)に予定されている奈良市議会議員選挙の立候補予定者に対する説明会を次のとおり開きます。立候補を予定している人は参加してください。立候補届出に必要な書類を渡します。

とき：3月22日(水)午後1時から
 ところ：市役所中央棟6階正庁 ▼問い合わせ：市選挙管理委員会事務局へ。

戦傷病者手帳所持者は

乗車券類引換証の請求を

戦傷病者手帳を所持している人は、平成7年度用戦傷病者乗車券類引換証の申し込みができます。該当の人は戦傷病者手帳、印鑑を持参のうえ、市役所厚生課または最寄りの出張所で請求手続きをしてください。なお、請求された引換証は、後日申請された窓口で交付します。

くわしくは市役所厚生課へ。

老春手帳

バス優待乗車証を更新

老春手帳バス優待乗車証が、4月1日から変わります。現在優待乗車証を持っている人は、新しい乗車証(鶯色)と引き換えてください。

引換場所、日時及び持参するものについては、3月15日までに該当者に郵

送する優待乗車証引換票(はがき)で確認してください。

なお、新しい乗車証は、交付を受けた日から使用できます。問い合わせは市役所高齢者福祉課へ。

雇用保険の新制度がスタート

高齢者や女性の職業生活の円滑な継続を援助、促進するための雇用継続給付が4月1日から創設されます。

高年齢雇用継続給付制度：60歳以上65歳未満の被保険者であって、被保険者であった期間が5年以上である人が、各月に支払われた賃金の額が60歳時点の賃金額の85%未満となる場合、原則として各月に支払われた賃金額に最高25%を乗じた額が支給されます

▼育児休業給付制度：被保険者期間が2年以上ある人が育児休業をするときに支給されます ▼問い合わせ：県雇用保険課(☎21101) またはハローワーク(奈良公共職業安定所 ☎601)へ。

県司法書士会の

相続登記等無料相談会

相続登記や会社の資本金増資等登記手続きについて県司法書士会が無料相談会を開きます。

とき：3月18日(土)午後1時～4時
 ▼ところ：県文化会館(登大路町)
 ▼内容：相続登記、株式会社・有限会社の最低資本金クリアについて、その他の登記について ▼申し込み：不要。当日直接会場へ。くわしくは同会(☎6677)へ。

市政に参加しませんか

市政モニター、ママさん特派員、

消費者モニターを募集

●市政モニター

市民の市政に対する率直な意見や要望を、行政に反映させるために協力してもらいます。

【仕事の内容】①市の主要施策についての設問に回答・報告 ②市政全般について意見要望などを自発的に報告

【人数・資格】市在住の20歳以上の人35人まで。ただし、公共団体の議会議員、常勤の国家・地方公務員と過去3年以内の市政モニター経験者を除く。

【任期】委嘱の日から平成8年3月31日まで。

【応募方法】はがきに住所、氏名、性別、年齢、職業、電話番号、「市政モニター」と書いて3月15日までに市役所広報公聴課へ。応募者の中から地域・年齢などを考慮し選考します。

●ママさん特派員

主婦の目で市の諸施策や地域のニーズを取材してもらい、「しみんだより」の記事を提供してもらいます。

【仕事の内容】「しみんだより」のママさん特派員として市政やまちの話題などをレポート。

【人数・資格】市在住の60歳までの主婦5人。

【任期】委嘱の日から平成8年3月31日まで。

【応募方法】住所、氏名、年齢、電話番号、「ママさん特派員」、応募動機(400字程度)を書いて3月15日までに郵送で市役所広報公聴課へ。多い場合は地域・年齢を考慮し選考します。

●消費者モニター

日常生活関連物資の価格動向・量目・サービス等の実態を把握し、市民の消費生活の安定と向上に資するための情報提供をしてもらいます。

【仕事の内容】①小売価格についての調査・報告 ②消費者問題に関する意見要望等の報告 ③消費生活に関するアンケートへの回答 ④市が依頼する各種調査への協力、会合への出席など。

【人数・資格】市在住で日常の買い物で自分で行っている20～55歳の女性40人。

【任期】委嘱の日から平成8年3月31日まで。

【応募方法】はがきに住所、氏名、生年月日、職業、電話番号、応募の理由、「消費者モニター」と書いて3月15日までに市役所商工課へ。応募者の中から地域・年齢などを考慮し選考します。

催し・教室

横井児童館で子ども大会

横井児童館・子ども大会実行委員会
 会が「胸をはって横井を語れる子ども」
 にテーマを開きます。仲間づくり
 の輪を広げ、地域活動で学んだ一年間
 の成果をみんなで力いっぱい発表しま
 す。

とき：3月12日(日)午前9時～午後5
 時 ▼ところ：横井児童館(横井町)

▼内容：迷路式お化け屋敷やブラン
 作り等の遊びのコーナー、フランクフ
 ルト・クレープ・ジュース等の模擬店
 コーナー、劇・合奏・合唱等の学習発
 表会 ▼問い合わせ：同館 ☎☎03
 07・0312)へ。

総合福祉センター

〒630左京五丁目三十一
 ☎☎0770 FAX☎0773

春休み映画フェスティバル とき：

3月25日(土)午前10時15分～11時45分
 ▼対象：市在住の心身障害児とその家
 族 ▼内容：「おぼけ煙突のうた」
 「いたずらあまんじゃく」ほか(カラ
 ーアニメ) ▼申し込み：不要。当
 日直接同センターへ。

ボランティアセンター

〒630法蓮町一七〇二一
 ☎☎2270

初心者のためのボランティアスクー
 ル とき：3月24日(金)午前9時～午後
 4時半 ▼対象：市在住でボランティ
 ア活動に関心のある人 ▼内容：講義

と体験実習 ▼申し込み：はがきに
 住所、氏名、電話番号を書いて3月15
 日までに必着で同センターへ。電話も
 可。

16ミリ映写技師養成講習会

とき：3月25日(土)午前9時～午後5
 時(希望者は午後7時まで)、3月26
 日(日)午前9時～午後4時 ▼ところ：
 中央公民館(上三条町) ▼定員：2
 日とも受講できる市在住、在勤、在学
 の人30人 ▼受講料：無料。昼食代、
 交通費は自己負担 ▼申し込み：はが
 きに住所、氏名、生年月日、電話番号
 を書いて3月15日までに必着で市役所
 社会教育課へ。多い場合は抽選。

青年ふれあい大会

障害を持つ青年と健常者の青年がク
 ラフトやスポーツを通じて交流を図り
 ます。

とき：3月19日(日)午前10時～午後3
 時 ▼ところ：サン・アピリテイズ
 奈良(左京五丁目) ▼内容：クラフ
 ト(紙飛行機)、ソフトバレーボール
 ▼定員：16～25歳の障害者と健常者各
 40人 ▼申し込み：3月16日までに電
 話で市役所女性青少年課へ。

再就職を希望する 女性のための講習会

再就職に必要な知識、技術を習得し
 てもらおうと開催します。
 とき：4月26日～6月19日の毎週
 月・水・金曜日午前9時半～午後3時

半。21回 ▼ところ：婦人就業サービ
 スセンター(大森町県総合庁舎内)
 ▼定員：女性30人 ▼内容：POP広
 告(スリーパー等のデザイン広告)クリ
 エイター技能審査3級
 ▼受講料：無料(教材費は自己負担)
 ▼申し込み：3月16日・17日の午前9
 時半～午後3時半に県婦人就業サービ
 スセンター(登大路町婦人会館内) ☎
 ☎5729)へ直接来所して申し込
 んでください。

第13回市展「なら」

市展「なら」のすばらしい入選作品
 の数々をご覧ください。

とき：3月14日(火)～19日(日)午前9時
 半～午後4時半 ▼ところ：中央公民
 館(上三条町) ▼表彰式：3月19日
 午前10時半から ▼作品解説(部門・
 解説者)：3月19日(日)午後1時から
 (日本画・松井牧牛、工芸・古瀬亮三)、
 午後2時から(洋画・白石道夫、書・
 杉岡華郎)、午後3時から(彫刻・小
 川清彦、写真・田中真知郎) ▼入場
 ：自由 ▼作品の搬入日：3月10日
 (金)、11日(土)午前10時～午後4時 ▼問
 い合わせ：市役所文化振興課へ。

市美術家協会 格子の家小品展

(財)ならまち振興財団と市美術家協会
 が共催で開催します。

とき：第1期 3月5日(日)～18日
 (土)、第2期 3月19日(日)～4月1日(土)、
 第3期 4月2日(日)～15日(土)。いずれ
 も午前9時～午後5時(月曜日休館)

▼ところ：ならまち格子の家1階ギャ
 ラリー格子(元興寺町) ▼内容：市
 美術家協会所属会員の作品を展示 ▼
 入場料：無料 ▼問い合わせ：財な
 らまち振興財団 ☎☎1820)へ。

なら高齢者大学受講生 を募集

とき：4月～来年3月の原則として
 木曜日午前10時～正午。40回 ▼とこ
 ろ：県新公会堂(春日野町) ▼定員
 ：60歳以上(4月1日現在)の健康で
 地域活動に意欲のある人100人。過去に
 この大学を受講した人の再受講は不可
 ▼内容：歴史、時事問題、地域活動、
 福祉、健康などの講座 ▼受講料：無
 料。県外研修等に要する経費は実費
 ▼申し込み：往復はがきに住所、氏名、
 生年月日、年齢、電話番号、奈良教
 室希望と書いて3月15日までに財長
 寿社会推進センター(〒634樺原市大久
 保町三二〇一一) ☎07442⑨
 0120)へ。多い場合は抽選。

女性の生き方を考える 土曜セミナー

とき：3月18日(土)午前10時～正午
 ▼ところ：県女性センター ▼テーマ
 ：「からだの声を耳を澄ませて」女性
 の性と生を考えよう ▼講師：ウ
 イメンズセンター大阪スタッフの高見
 陽子さん ▼定員：女性40人 ▼参加
 料：無料 ▼その他：託児あり(2才
 以上就学前の幼児) ▼申し込み：往
 復はがきに住所、氏名、年齢、電話番
 号を書いて同センター(東向南町六
 ☎☎2300)へ。

3月15日～31日は国民健康保険料(第10期分)の納期です。保険料はみなさまの健康な暮らしを支える大切な財源です。

スポーツ

スポーツ施設を開放します

〈中央体育館（法蓮町）〉 とき：3月18日(土)午前9時～午後4時 ▼種目：卓球（用具のある人は持参してください） ▼その他：体育館シューズを必ず使用してください ▼問い合わせ：同館（☎291501）へ。学校などのクラブ活動での使用は不可。

第2土曜日にスポーツ施設を開放します

学校週5日制実施に伴い開放します。
 〈中央第二体育館（法蓮町）〉 とき：3月11日(土)午前9時～正午 ▼種目：卓球 ▼対象：市在住小学生 ▼その他：体育館シューズを必ず使用してください ▼問い合わせ：中央体育館（☎291501）へ。クラブ活動での使用は不可。

高の原コミュニティスポーツ会館が開館

3月1日開館します。
 とくところ：神功三丁目六 ▼使用申し込み：ならやまコミュニティスポーツ会館（朱雀二丁目 ☎4208）受け付け時間は午前9時～正午。

狭川コミュニティスポーツ広場が開場

4月1日から開場します。

とくところ：下狭川町二八八二 ▼使用申し込み：詳細については市役所体育課へ。

ならやま屋内温水プール

〒630左京五丁目三
 ☎0774 FAX0773

ならやま水泳教室（女性の部） と

とき：4月19日～7月12日の毎週水曜日 午後1時10分～2時10分。計12回 ▼定員：市在住・在勤・在学の18歳以上の女性（高校生は不可） 65名 ▼締め切り：3月20日



ならやま水泳教室（小学1年～3年生の部） とき：4月14日～7月7日の毎週金曜日午後3時50分～4時50分。12回 ▼定員：市在住・在学の小学1～3年生若干名 ▼締め切り：3月25日

〔参加料〕受講料6千600円、保険料250円。水着、水泳帽子、タオル、ゴーグル等は持参してください。
 〔申し込み〕往復はがきに住所、氏名、年齢、学年、電話番号を書いて各締め切り日までに必着で同プールへ。多い場合は抽選。

ジュニア体操教室

市体操協会が次のとおり開きます。
 とくところ：4月22日(土)～来年3月16日(土)の毎週土曜日①午後1時45分～3時②午後2時～3時半Ⅱ佐保川小学校 ▼定員：小学新2～6年生80人 ▼内容：マット、跳び箱、平均台、ミニトランポリン、

縄飛び等の基本技能の習得 ▼参加料：年額2万円 ▼申し込み：往復はがきに住所、氏名、電話番号、性別、新学年、返信用はがきに住所、保護者名を書いて3月10日までに同協会の原稔さん（〒630法蓮町南二一〇七〇一四 ☎4892）へ。多い場合は低学年を優先します。

武道、座禅、茶華道教室

市武道振興会が次のとおり募集します。

剣道教室 とき：4月3日(月)から毎週月、火、金曜日の午後5時～6時 ▼定員：小学2年生（4月1日現在）以上の初心者30人

剣道一般教室 とき：4月3日(月)から毎週月、火、木、金曜日の午後6時～7時 ▼定員：有段者10人

柔道教室 とき：4月4日(火)から毎週火、木曜日の午後5時半～7時と毎週土曜日の午後2時～3時半。週3回 ▼定員：小学2年生（4月1日現在）以上35歳まで30人

なぎなた教室（火曜日の部） とき：4月4日(火)から毎週火曜日の午前10時～正午 ▼定員：一般成人50歳まで10人

なぎなた教室（木、土曜日の部） とき：4月8日(土)から毎週木、土曜日の午後2時～3時 ▼定員：小学2年生（4月1日現在）以上50歳まで10人

弓道教室 とき：4月8日(土)から毎週土曜日の午後5時～7時 ▼定員：高校生以上の初心者20人

座禅教室 とき：4月2日(日)から毎週日曜日の午前7時から8時半 ▼定員：高校生以上10人

茶道教室（裏千家） とき：4月6日(木)から毎週木曜日の午後1時～4時 ▼定員：10人

華道教室（本化未生流） とき：4月6日(木)から毎週木曜日の午後1時～4時 ▼定員：10人

〔参加料〕各教室とも3か月で千500円（武道は傷害保険料含む）。茶華道は別に材料費が必要。

〔申し込み〕往復はがきに住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、職業（学生は学校名・学年）、電話番号、希望教室（一人一教室）を書いて3月17日までに必着で同会（〒630法蓮町一五三〇中央第二武道場内 ☎6163）へ。市在住者に限り。多い場合は抽選。

県ゆっあいスポーツ大会（精神薄弱者スポーツ大会）

全国大会出場選手の選考会を兼ねています。
 とくところ：陸上競技・フライングディスクⅡ5月28日(日)に県立権原公苑陸上競技場。バスケットボール・ソフトボールⅡ6月4日(日)に県心身障害者福祉センターほか ▼参加資格：4月1日現在満13歳以上の精神薄弱者・児で、1人で競技に参加できる人。（参加できる健康状態にあること） ▼申し込み：市役所厚生課備え付けの用紙で3月24日までに必着で同課へ。

申し込み：市役所厚生課備え付けの用紙で3月24日までに必着で同課へ。

公民館

中央公民館

〒630上三条町二二一四
☎2965006

第13回奈良学セミナー

「万葉の世紀」を主題に開きます。5月20日(土)10月28日まで10回シリーズで各専門家を講師に招いて開催します。万葉集に見る人々の自然観や人生観のほか万葉の時代による政治・思想の変遷など万葉の時代に登場した人物や事象を学ぶ講座です。日程、講師、各テーマ、受講の申し込み方法などは3月15日号の「しみんだより」でお知らせします。

平城公民館

〒631秋篠町一四六八
☎493578

青少年健全育成事業教育講演会「いま、いじめを共に考える」

「いじめによる子どもたちの自殺が多発している現在、教師・父兄・地域社会がどのようにこの問題に取り組んでいけば良いかを共に考えます。」
とき：3月22日(水)午後1時半～3時半
▼定員：成人50人 ▼申し込み：3月18日までに電話か直接来館して申し込みください。

【お詫びと訂正】

2月1日号しみんだより4ページに掲載の「2月は省エネルギー月間」の記事中、上段6行目の天然ガスは誤りでした。国内で使用される天然ガスは、硫黄分は除去されています。お詫びして訂正します。

水も限りある資源です。節水にご協力を！ 水道局

4月から学校週五日制による休業日は月2回になります

奈良市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校では、4月から、毎月の第2土曜日に加えて第4土曜日にも休みになります。

月1回の学校週五日制順調に実施

月1回の学校週五日制が実施されて、2年半になろうとしています。市では、市学校週五日制実施推進会議(高橋史郎委員長)の意見をもとに、多くのみなさまのご協力を得ながら、その推進を図ってきました。

学校においては教育内容を選びながら、教育水準を維持し、子どもの伸びようとする力を育てることや、子どもが自ら考え、判断し、行動する力を身につけることを大切にしようと、指導内容や指導方法の工夫改善が進められています。

また、社会教育関係においては、各種施設の無料開放をはじめ、さまざまな事業が実施され、子どもたちが親子で行事に参加したり、施設を利用したりして、有意義なひとときを過ごしています。各種の青少年団体やボランティア団体などで実施する活動に参加した子どもたちも多数にのぼっています。

今、なぜ学校週五日制なのでしょう

再度五日制のご理解を

学校週五日制は、学校の休みが増えて子どもたちが単に家庭にいることになるというわけではありません。

今、社会は大きく変化しています。それは今後ますます拡大し、加速化するのではないのでしょうか。このような社会に生きる子どもたちにとって、これまでのように単に知識の量の拡大だけではなく、自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応し、自ら考え、判断し、行動するための資質や能力(思考力・判断力・表現力など)をより一層伸ばすことが大切になります。

今、学校ではこのような資質や能力を伸ばそうと、体験的な学習や問題解決的な学習など授業に様々な工夫が行われています。しかし、このような資質や能力は学校の授業だけで育つものではありません。家庭生活や地域社会の中において深まり、根付いていくものなのです。

このような考えから、学校、家庭、地域社会における子どもの生活全体を見直し、子どもたちが主体的に使うことができる時間を確保し、親子のふれあいや遊び、自然体験、社会体験、その他さまざまな生活体験を通して、豊かな人間性を育て、社会性を伸ばすという目的で実施されたの



が「学校週五日制」です。この学校週五日制の趣旨を再度よく理解していただき、子どもたちに夢と希望をもたらすよう、ご協力をお願いします。

みんなの手で子どもを育てよう

4月からは学校週五日制が月2回の実施になります。今後は、月1回の実施の経験を踏まえ、各学校において、児童や生徒の学習負担などに配慮しつつ、教育水準を維持する教育課程の在り方や指導内容・指導方法の工夫改善を一層進め、学校教育の質的な向上に努めて行きたいと考えています。

また、月2回の実施に伴って、家庭や地域社会における子どもたちの生活時間が増加します。これまでも保護者が家庭にいないという事情のある小学校低学年の児童や障害児児童級の児童に対して、ボランティア等の協力を得て、遊び、スポーツ文化活動など適切な対応をしてもらおうと各小学校区に「学校週五日制実施推進協議会」を設置し、取組みをお願いしてきました。今後も留守家庭の子どもたちを守りながら、これまで以上に地域の子どもたちの生活体験、自然体験、社会体験などを豊かにするため、さまざまな活動に参加できる場や機会の充実に努めます。保護者をはじめ広く地域のみなさまの一層のご理解とご協力をお願いします。くわしくは、市役所指導課へ。

備え付けの用紙に必要事項を書いて申し込んでください。

母親教室

妊婦さん同士で楽しく過ごしませんか。

▶**ところ**…各日とも保健センター ▶**定員**…予定日が8・9月で原則として4回受講できる初妊婦45人 ▶**申し込み**…往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、出産予定日、「母親教室」希望と書いて3月20日までに市役所保健センター（〒630二条大路南一丁目1-30）へ。多い場合は抽選。

4月 時間は9:30～12:00

とき	内 容
7(金)	妊娠中のくらしかた
13(木)	妊娠中の歯の衛生・妊娠中のたべもの
21(金)	薬にお産をするために
28(金)	赤ちゃんの育て方・産後のくらしかた

※当日は母子手帳、筆記用具持参のこと

目の健康相談と検眼

県眼科医会が次のように開きます。

目の健康相談日（無料）

▶**とき**…3月14日(火)午後2時～3時 ▶**ところ**…県医師会メディカルセンター（橿原市内膳町）

検眼の日（保険診療のため有料）

▶**とき**…3月11日(土)午後1時～3時 ▶**ところ**…河本眼科医院（富雄北一丁目 ☎⑤0363）

くわしくは県医師会内県眼科医会の福田さん（☎07442②8502）へ。

成人歯科健康相談

歯科医師が相談に応じます。むし歯や歯槽膿漏、入れ歯などお口に関する心配ごとのある人は気軽に相談してください。

▶**とき**…3月16日(木)午前10時～正午 ▶**ところ**…市役所保健センター（二条大路南一丁目） ▶**対象**…40歳以上の人とその家族 ▶**申し込み**…電話で同センターへ。

心身障害児の歯科検診

心身障害児を対象に市歯科医師会と県歯科衛生士会の協力で行います。

▶**とき**…3月26日(日)午前9時～正午 ▶**ところ**…みどりの家歯科診療所(左京五丁目総合福祉センター内) ▶**申し込み**…3月15日までに電話で市役所厚生課へ。

たんぼぼ運動（歯みがき指導とフッ化物塗布）

県と市の歯科医師会が次のように開きます。

▶**とき**…3月28日(火)午前10時～正午と午後1時～3時 ▶**ところ**…県歯科医師会館（二条町二丁目） ▶**定員**…3歳児から就学前の子と保護者で午前・午後各50組 ▶**参加料**…無料 ▶**持参品**…子供の歯ブラシとコップ ▶**申し込み**…電話で3月24日までに県歯科医師会（☎③0861）へ。

成人健康相談

医師が相談に応じます。

成人病をはじめ、健康についての悩みのある人は気軽に相談してください。希望者には、血圧測定や検尿を行うほか、全員に健康手帳をお渡しします。

▶**とき**…3月15日(水)午後1時半～4時 ▶**ところ**…市役所保健センター（二条大路南一丁目） ▶**対象**…40歳以上の人とその家族 ▶**申し込み**…電話で同センターへ。

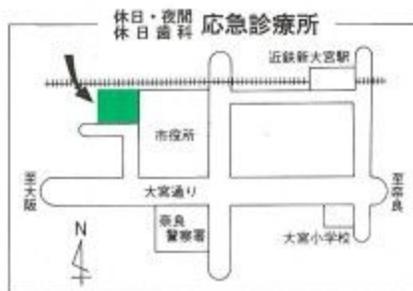
休日・夜間の急病診療

■**休日夜間応急診療所**（二条大路南一丁目市役所西隣 ☎③1228）

▶**診療科目**…内科・小児科 ▶**診療受付**…休日＝毎休日・祝日午後零時半～6時半、夜間＝毎日午後9時半～翌朝5時半。

■**休日歯科応急診療所**（二条大路南一丁目保健センター内 ☎③144）

▶**診療受付**…毎休日・祝日午前9時半～午後3時半。



引っ越しのシーズンです！

～こんなときには水道局に連絡を～

水道の使用をやめるとき、使い始めるときは必ず水道局へ連絡してください。

転入、転出などで引っ越しのときには、いろいろな手続きが必要ですが、水道局への手続きも、次のような場合には、忘れずに電話で連絡してください。

*新しく家を建てたり、引っ越して水道をご使用になるとき
*家を取り壊したり、引っ越しなどで水道の使用を中止するとき

*使用者、所有者の名義が変わるとき

*長期にわたって水道をご使用にならないとき

このような場合は、市水道局料金課（法華寺町 ☎④5200）または西大寺以西は西部営業所（鶴舞東町 ☎④4471）へ3日から4日前までに連絡してください。

連絡の際には、「水道ご使用水量のお知らせ」または「水道料金・下水道使用料領収書」に書いてある使用者番号、水栓番号を申し出てください。

なお、水道の使用を中止される場合は、水道の使用中止手続きとともに水道料金の精算をお願いします。

*三階建て以上のマンションやアパートに居住の人は、いずれの場合も管理人の方にご連絡ください。



健康のコーナー

胃がん検診

検診車の巡回検診です。

▶対象…35歳以上の人（妊婦は除く） ▶
受診料…35～69歳は500円。70歳以上と生活保護・住民税非課税世帯の人は無料（申し込み時に申し出を） ▶申し込み…電話で3月20日までに市役所衛生課または保健センターへ ▶受付時間…午前9時半～10時半。

4月

とき	とこ	ろ
5(木)	宮の森集会所	
7(金)	学園緑ヶ丘集会所	
10(月)	中山町西二丁目集会所	
11(火)	市役所診療所前	
12(水)	奈良保健所	
13(木)	済美南小学校	
14(金)	右京小学校	
17(月)	桂木団地集会所	
17(月)	伏見小学校	
18(火)	飛鳥公民館	
18(火)	大宮小学校	
19(水)	都跡小学校	
20(木)	大安寺南部公民館（自治会集会所）	
21(金)	古市児童館	

ツ反反応検査・BCG接種

結核予防のため、ツベルクリン反応検査をし、2日後に陰性のときはBCG接種を行います。

▶対象…ツベルクリン判定当日生後6か月

以上48か月までの子で、未検査児と前回1回受けて陽性・疑陽性の子。今回はポリオ生ワクチンの服用が2回完了した子で、これまで受けもれた子。

〈受けられない子〉①1年以内にひきつけ(けいれん)をおこした子 ②ポリオ、麻しん、風しん、おたふくかぜ、みずぼうそうの子防接種を受けてから各4週間、その他の子防接種を受けてから2週間以上たっていない子 ③麻しん、風しん、おたふくかぜ、みずぼうそう、リンゴ病、手足口病の病気が治ってから4週間以上たっていない子 ④突発性発しん、とびひが治って2週間以上たっていない子 ⑤免疫グロブリンの注射を受けて2か月以上たっていない子 ▶とき・ところ…下表（校区は順次掲載）。時間はいずれも午後2時～3時で実施場所は市役所保健センター ▶問い合わせ…市役所衛生課へ。

ツ反検査	判定・BCG	対象小学校区
3/15(木)	3/17(金)	全 校 区

※当日は母子手帳を持参してください。

4か月児健診

▶対象…生後4か月の子 ▶内容…問診、身体計測、内科診察、栄養指導、生活指導及び神経芽細胞腫の検査セットの交付 ▶日程…奈良保健所（西木辻町 ☎☎6171）は毎月第1・2・3・5火曜日午前9時～10時受付。母子手帳を持参し直接奈良保健所へ。西奈良保健センター（登美ヶ丘

二丁目 ☎☎5911）は毎月第1・2・3・4月曜日午前9時～10時に受付。各日西奈良地区在住者30人。（電話予約が必要）

乳がん自己検診法講習会

乳がんは、がんの中でも自分で見たり触れたりする自己検診法で早期発見ができます。マスターしませんか。

▶対象…市在住の女性 ▶とき…3月16日(木)午前10時～正午 ▶ところ…市役所保健センター（二条大路南一丁目） ▶申し込み…電話で同センターへ。

小児慢性特定疾患相談

▶対象…小児慢性特定疾患患者又はその家族 ▶内容…療養・受療・生活に関すること。 ▶とき…3月22日(木)午前9時～11時 ▶ところ…西奈良保健センター（登美ヶ丘二丁目） ▶申し込み…電話で3月20日までに奈良保健所（☎☎6171）へ。

肥満児の治療教室

▶とき…3月28日(火)～30日(木)。2泊3日 ▶ところ…国立療養所西奈良病院（七条二丁目） ▶定員…肥満度20%以上の肥満児（小学生3年生～中学生）20人とその家族。合宿形式で宿泊は子どものみ、家族は1・3日目に参加。子どもは3日間の参加が必要です。 ▶参加料…約25,000円（健康保険の種類により多少異なります） ▶申し込み…3月10日までに必着で同病院医事係（〒630七条二丁目789 ☎☎4591）

予防接種法が改正されました

従来は伝染病から社会を防衛するという考え方が、今回、個人の健康の保持増進を第一に考えた勧奨制度に変わりました。

接種の対象となる病気も少し変わり、今後はポリオ・ジフテリア・百日せき・破傷風・麻しん（はしか）・風しん・日本脳炎、結核が対象の病気です。

今回、厚生省は「予防接種と子供の健康」と題した小冊子を作りました。これは市町村の担当課にあります。この冊子には予防接種の意義、対象の病気、有効性、副反応等、かなり詳しく説明されています。まずこの冊子を読み、予防接種の意味を理解し、受けるかどうかを判断してください。

そして接種では、まず「予診票」にお子さんの状況、状態を記入します。これを医師が見て診察をし、接種の可否を決めますが、医師が「可」としても接種するかどうかは

保護者に任されています。接種に関して医師の責任も重大ですが、保護者にもそれに対する判断を求めています。この点が今回の改正の大きな特徴といえます。

天然痘の撲滅、ポリオ・日本脳炎・百日せき・ジフテリア・麻しん（はしか）の予防など、予防接種の有効性については疑う余地はありませんが、まれに発生する予防接種の健康被害も忘れてはならない点です。これらのことを充分考慮して今回の改正はなされました。

お子さんの健康のために、よく考えて接種の場に臨んでください。



奈良県医師会

飼い犬の登録制度が変わります

～4月1日から、毎年1回の登録が生涯1回に～

毎年1回の登録が、新制度では生涯に1回登録すればよいこととなります。つまり、4月1日以降は1回登録を済ませば、あとはその必要がなくなります。

しかし、飼い犬が死亡したとき、犬の所在地が変わったときや飼い主の住所の変更があったときは、そのたびごとに飼い主は市へ届け出をしなければなりません。ご注意ください！

平成6年度に犬の登録をしていた人も、4月1日から実施される新制度でも登録をしなければなりません。犬の鑑札と狂犬病予防注射済票は、犬の首輪につけていなければなりません。

犬の登録は、生涯1回となりますが、狂犬病の予防注射は従来どおり年1回受けなければなりません。くわしくは市役所衛生課へ。

ペットは正しく飼いましょう

あなたにとって家族同然の大切なペット。誰にも愛されるために、飼い主のあなたがマナーを守ってください。

目の届かない所で、人に迷惑をかけることも。放し飼いはぜったいにしないでください。

散歩の時などの「ふん」は、持ち帰って始末しましょう。



飼ってはいけない場所で飼わない、つないで飼う等、ルールを守りましょう。

飼えなくなっても、無責任にペットを捨てないでください。

編集後記

身近なところで起きた兵庫県南部地震被災地のみなさんは厳しい状況におかれてさぞ大変なことだとお察しします。ただ全国から被災者に対して義援金、救護物資などが寄せられているという話題は心温まるものです。人に対するやさしさ、思いやりはいつまでももち続けたいものですね。(Y) ▶今回掲載した世論調査で「奈良に住んでよかったと思う」と答えた人の理由に「災害が少ない」が3番目にあがっていますが、大きな地震災害が起らないであろうといわれていた関西圏で1月にあれほどの被害をもたらした大地震が発生したところです。油断は禁物。もしものとき被害を最小限に食い止めるため、備えておきましょう。(T)